

第6章 道路、公園等の状況

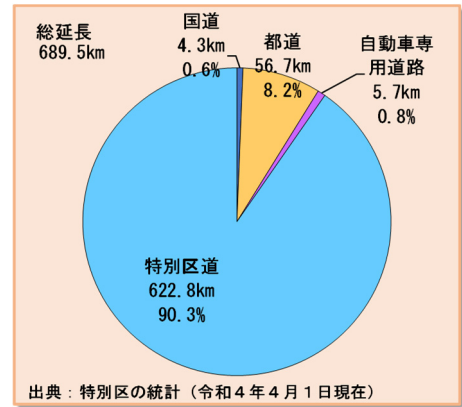
1 道路の状況

(1) 公道延長、面積の状況

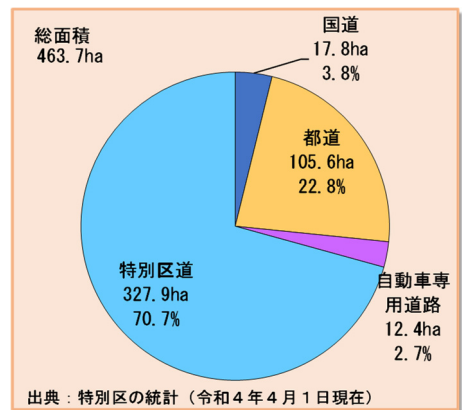
◆ 延長、面積ともに特別区道が最多

- 国道や都道、特別区道等の公道の総延長は689.5km、総面積は463.7haとなっています。
- 公道の内訳では、特別区道が延長で90.3% (622.8km)、面積で70.7% (327.9ha)を占めて最も多く、公道の大部分を構成しています。
- 特別区道以外では、都道が多く、延長で8%、面積で23%を占めています。

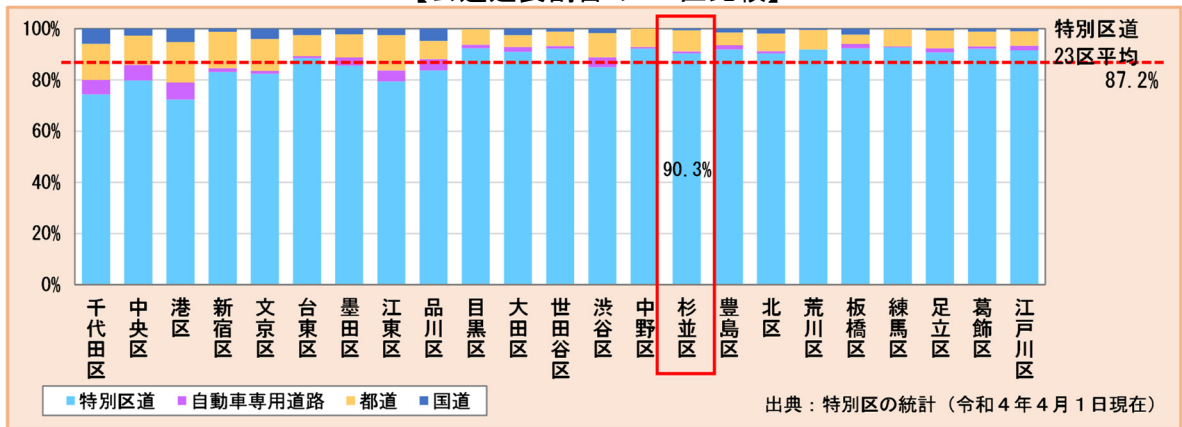
【公道延長の割合】



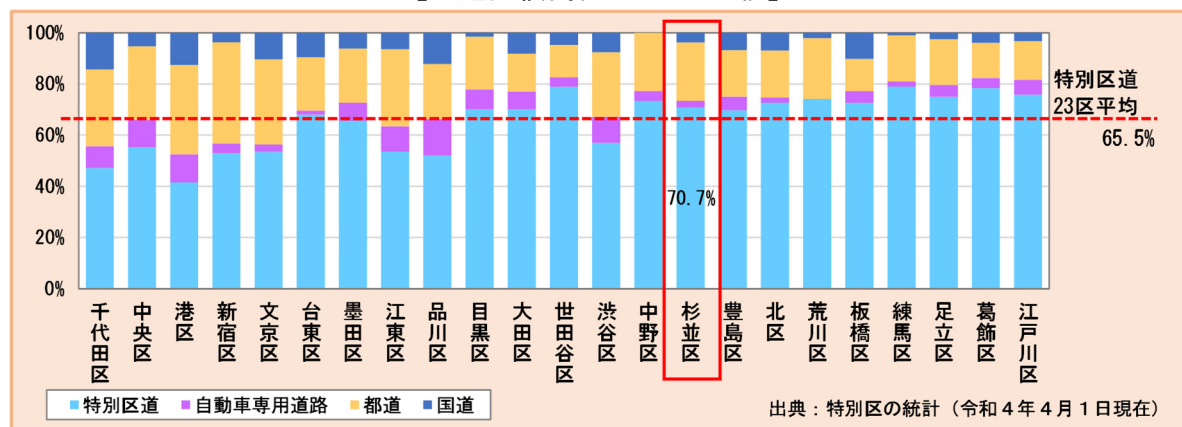
【公道面積の割合】



【公道延長割合の23区比較】



【公道面積割合の23区比較】

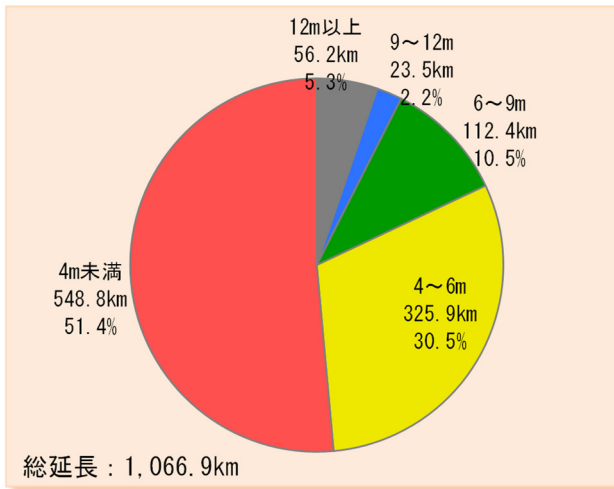


(2) 幅員別道路状況

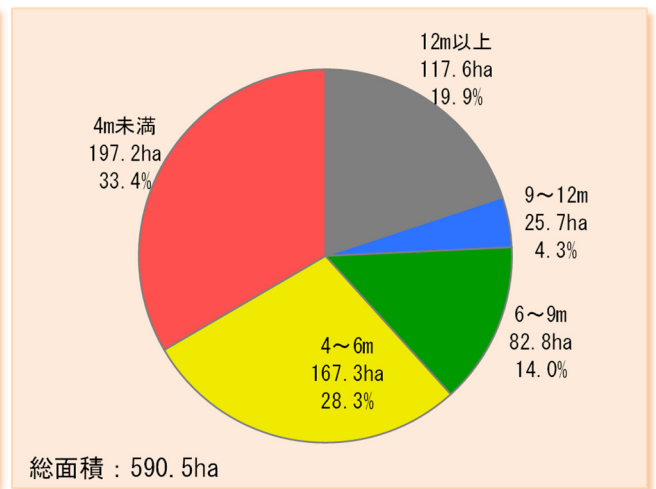
◆ 幅員 4 m未満の道路延長が最多

- 公道と私道を合わせた道路延長を見ると幅員 4 m未満が最も多くなっており、全体の 51.4% (548.8km) となっています。幅員 4 m～6 mの道路と合わせると 82.0%を占めています。
- 面積についても、幅員 4 m以上 6 m未満の道路が 28.3% (167.3ha)、幅員 4 m未満が 33.4% (197.2ha) で、他の道路幅員と比べて割合が多くなっています。

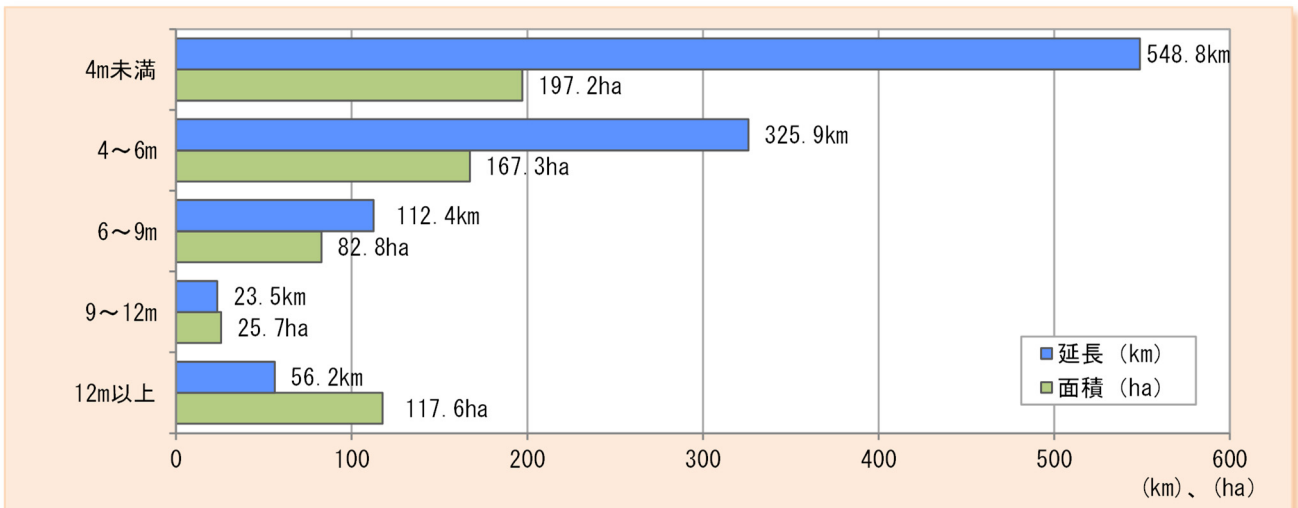
【幅員別道路延長の割合】



【幅員別道路面積の割合】



【幅員別道路延長と面積】

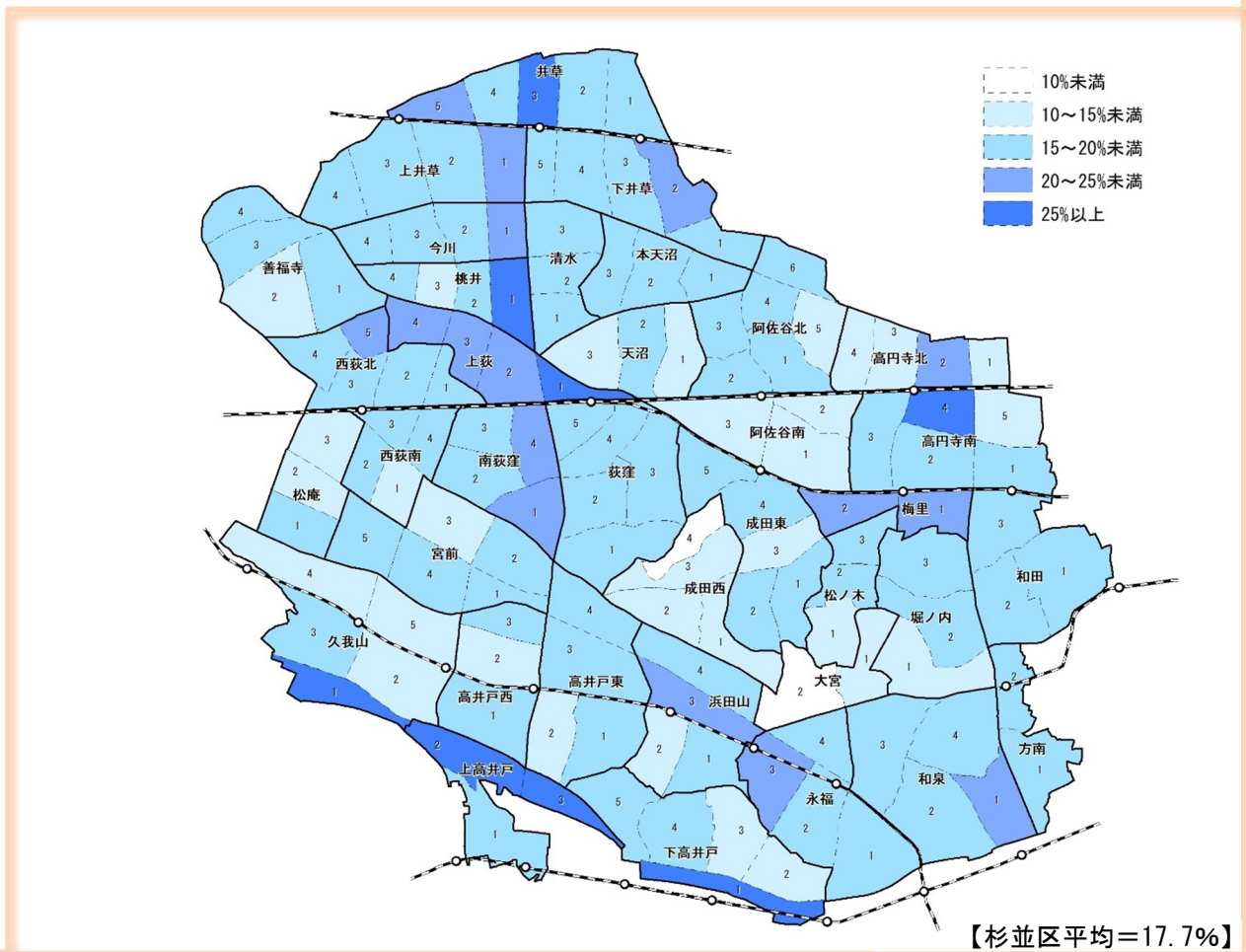


(3) 道路率の状況

◆ 環状7号線や環状8号線、青梅街道沿いに道路率の高い町丁目が分布

- 道路率とは、区域の面積に占める道路面積の割合のことを指します。
- 環状7号線や環状8号線、青梅街道沿いなどの幹線道路に面する町丁目の多くで道路率が20%以上となっています。
- 和田堀公園や善福寺川緑地、善福寺公園等大きな公園・緑地がある町丁目の道路率は、公園・緑地面積が広いことにより、相対的に道路率が低くなっています。

【道路率の状況図(町丁目別)】



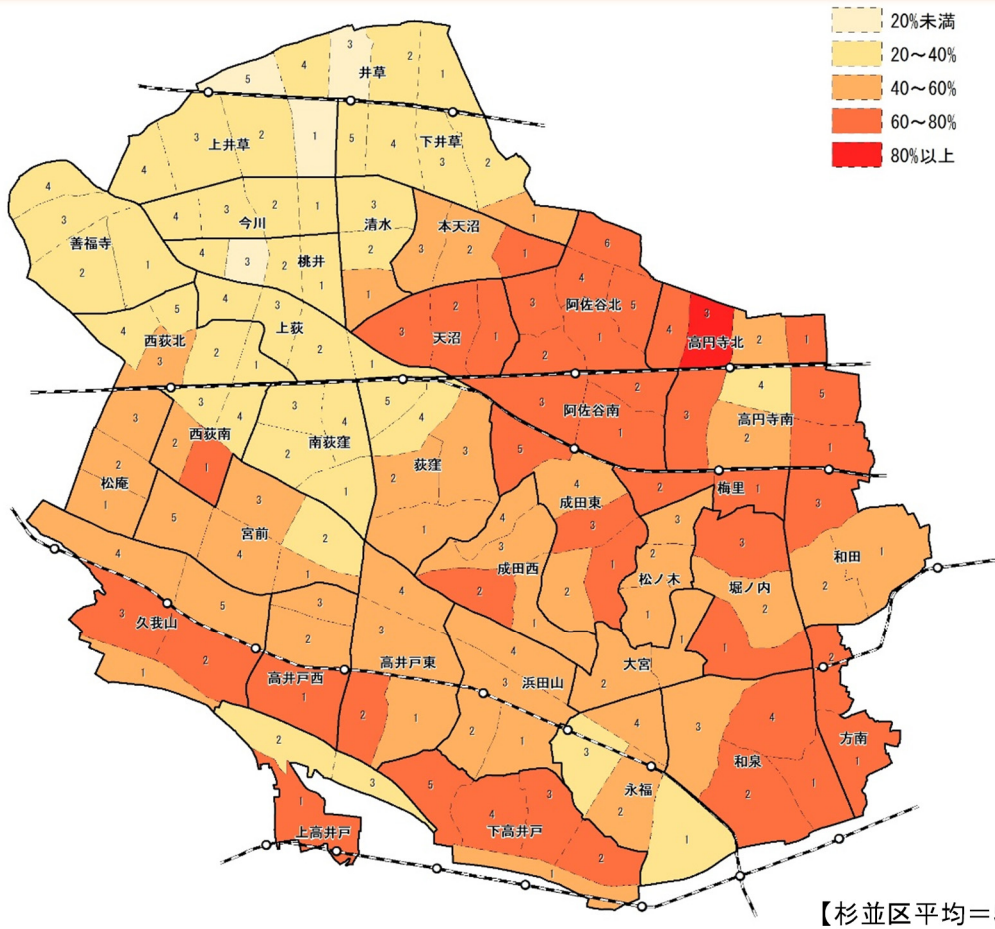
道路率 = (道路面積合計) / (町丁目面積) × 100

(4) 細街路率の状況

◆ 区北西部を除いて細街路率の高い町丁目が分布

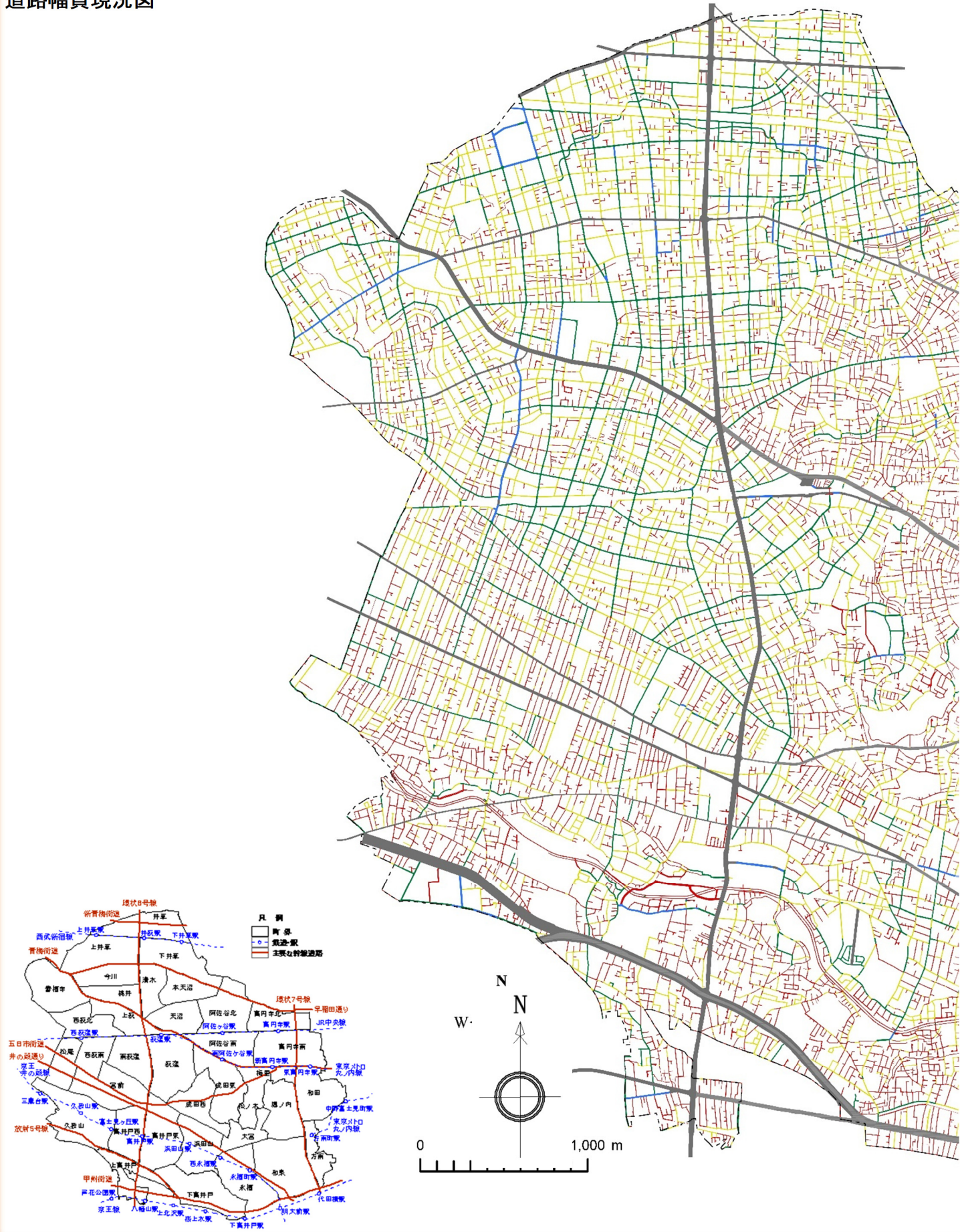
- 細街路とは、現況幅員が4 m未満の道路のことを指し、細街路率とは、細街路が全道路延長に占める割合のことを指します。
- 細街路率が比較的高い町丁目は、区の東部に分布しています。
- 細街路率が比較的低い町丁目は、区の北西部に分布しています。

【細街路率の状況図(町丁目別)】



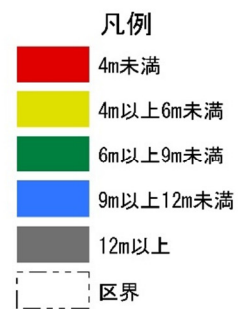
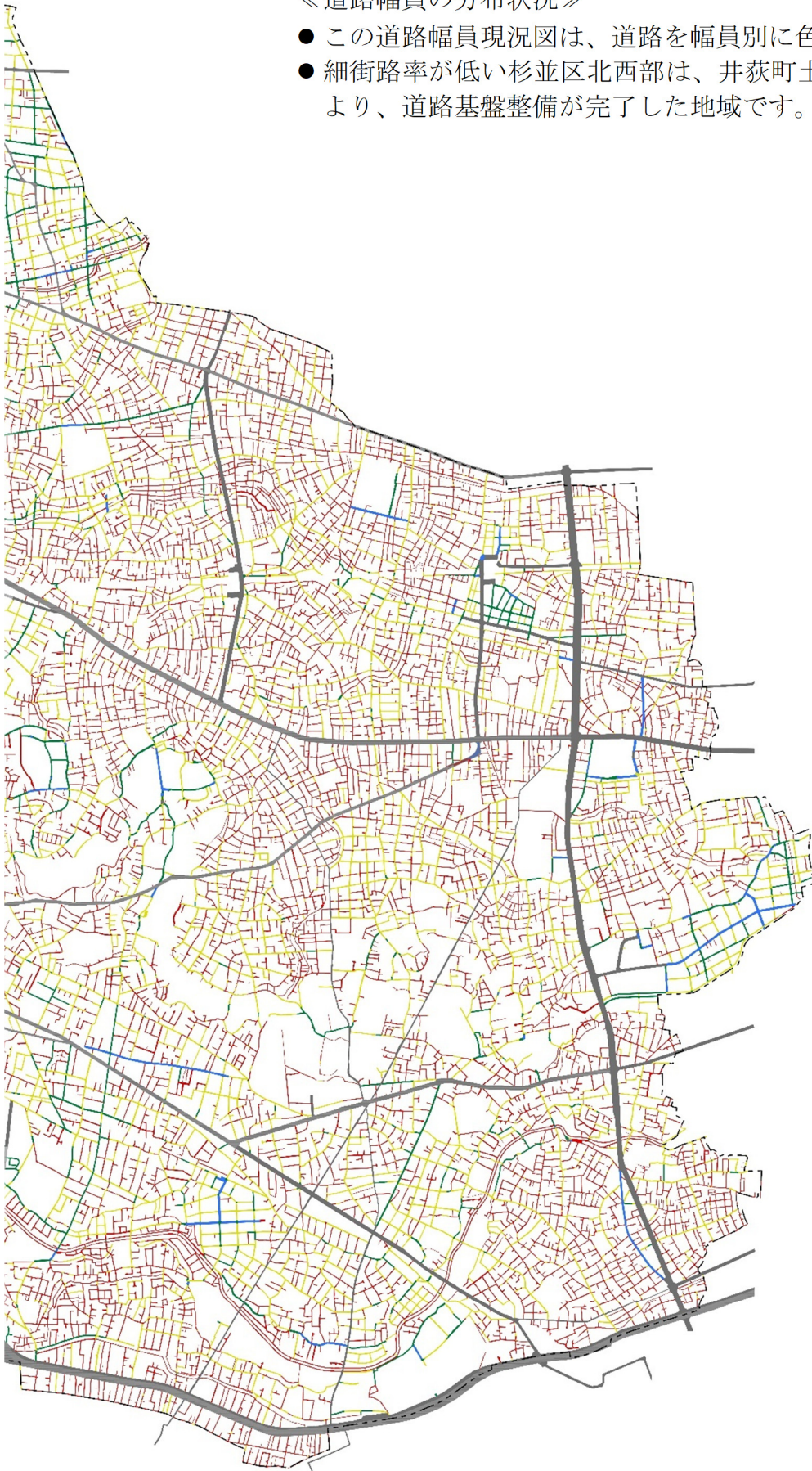
細街路率 = (現況幅員 4 m 未満道路延長合計) / (道路延長合計) × 100

道路幅員現況図



《道路幅員の分布状況》

- この道路幅員現況図は、道路を幅員別に色分けしたものです。
- 細街路率が低い杉並区北西部は、井荻町土地区画整理事業(資料編 P95)により、道路基盤整備が完了した地域です。



2 公園等の状況

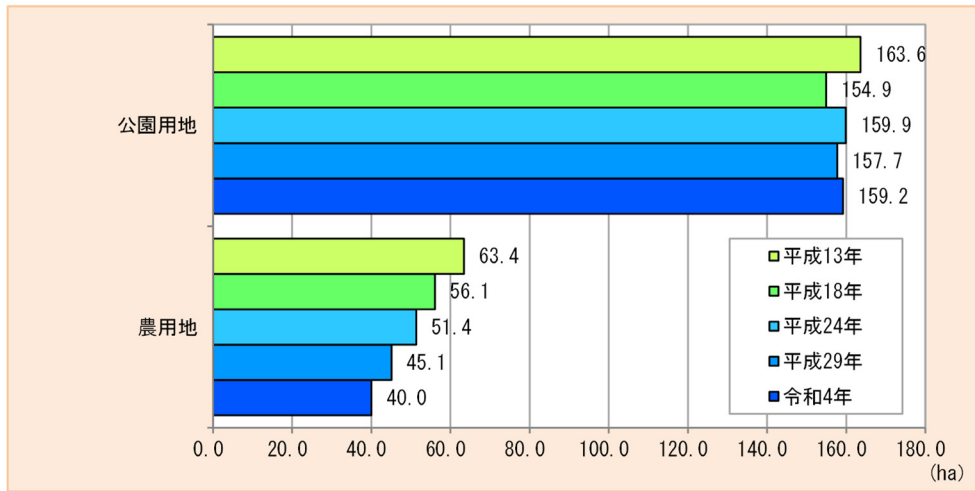
(1) みどりの状況

1) 公園・農用地等の状況

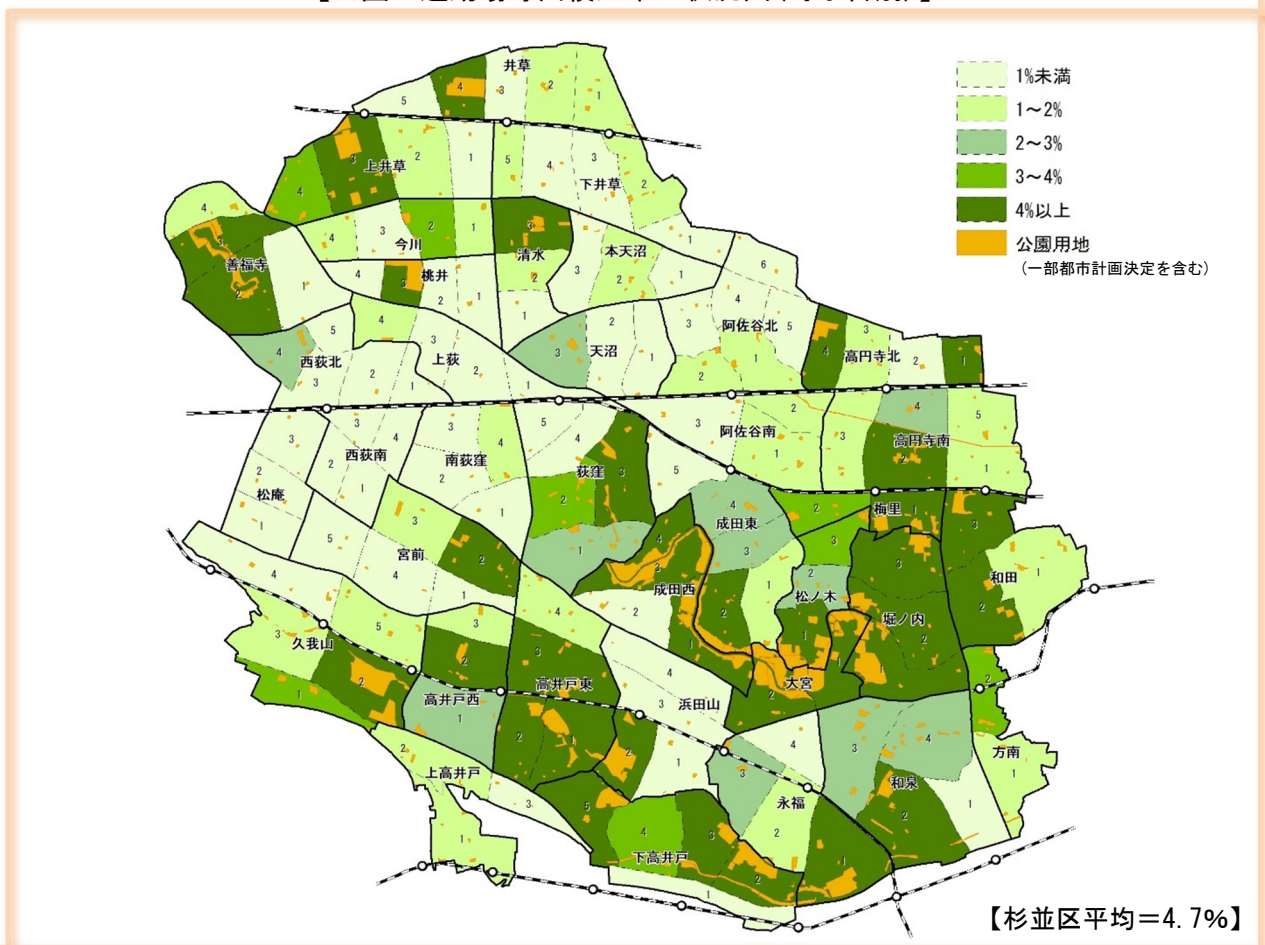
◆公園用地が増加し、農用地が減少

- 公園用地の面積は159.2haとなっており、前回調査から1.5ha増加しています。
- 農用地は年々減少する傾向にあり、平成13年からの21年間で36.9%（23.4ha）減少しています。

【公園・運動場等・農用地農用地の推移】



【公園・運動場等面積比率の状況図(町丁目別)】



公園等面積率=(公園等面積合計)÷(町丁目面積)×100 ※面積はともにGIS面積

2) 都市公園等の状況

◆ 善福寺川、神田川沿いに大きな公園・緑地が多い

- 和田堀公園や善福寺川緑地、善福寺公園、柏の宮公園などの大規模な公園をはじめ、区内の都市公園等は356箇所、130.6haが整備されています。

【都市公園等の箇所数と面積】

分類		箇所数	面積 (ha)
都立	都市公園	5	59.9
区立	都市公園	285	64.2
	児童遊園	49	2.5
	一時遊び場	17	4.0
合計		356	130.6

※令和4年4月1日現在、みどり公園課資料による

3) 生産緑地地区の状況

◆ 生産緑地地区は年々減少

- 令和4年現在、123件、30.76haが生産緑地地区に指定されています。

【生産緑地地区の件数と面積】

分類	令和4年	平成30年	平成24年	平成18年	平成13年
件数	123	127	142	152	167
面積 (ha)	30.76	32.90	36.65	39.87	43.64

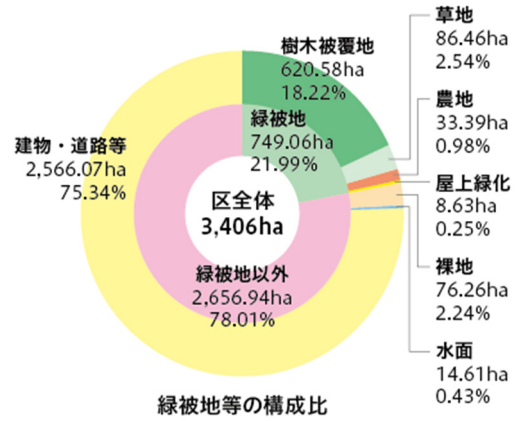
※令和4年11月、平成30年12月、平成24年11月、平成18年11月、平成13年9月の告示による

4) 緑被率の状況

◆ 緑被率は区全域で 22.0%

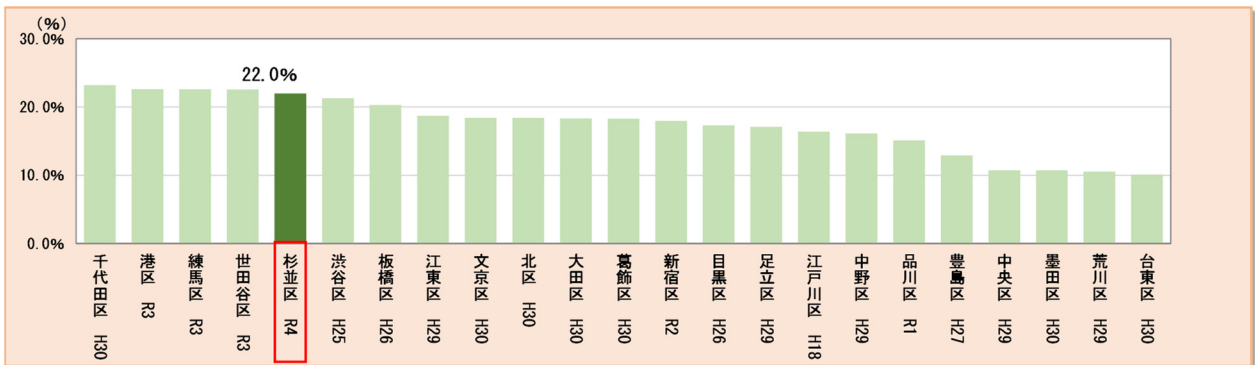
- 緑被率とは、樹木や草地など、みどりで被われた面積（緑被地面積）が区域の面積に占める割合のことを指します。「令和4年度杉並区みどりの実態調査」によると緑被地面積は749.06haとなっています。
- 樹木被覆地は、18.22%（620.58ha）となっており、区の緑被地の多くを占めています。
- 主に、善福寺川や神田川に沿って公園や緑地が整備され、緑被率が高い状況となっています。また、農地は、区の北西部及び南西部に主に分布しています。

【緑被の状況】



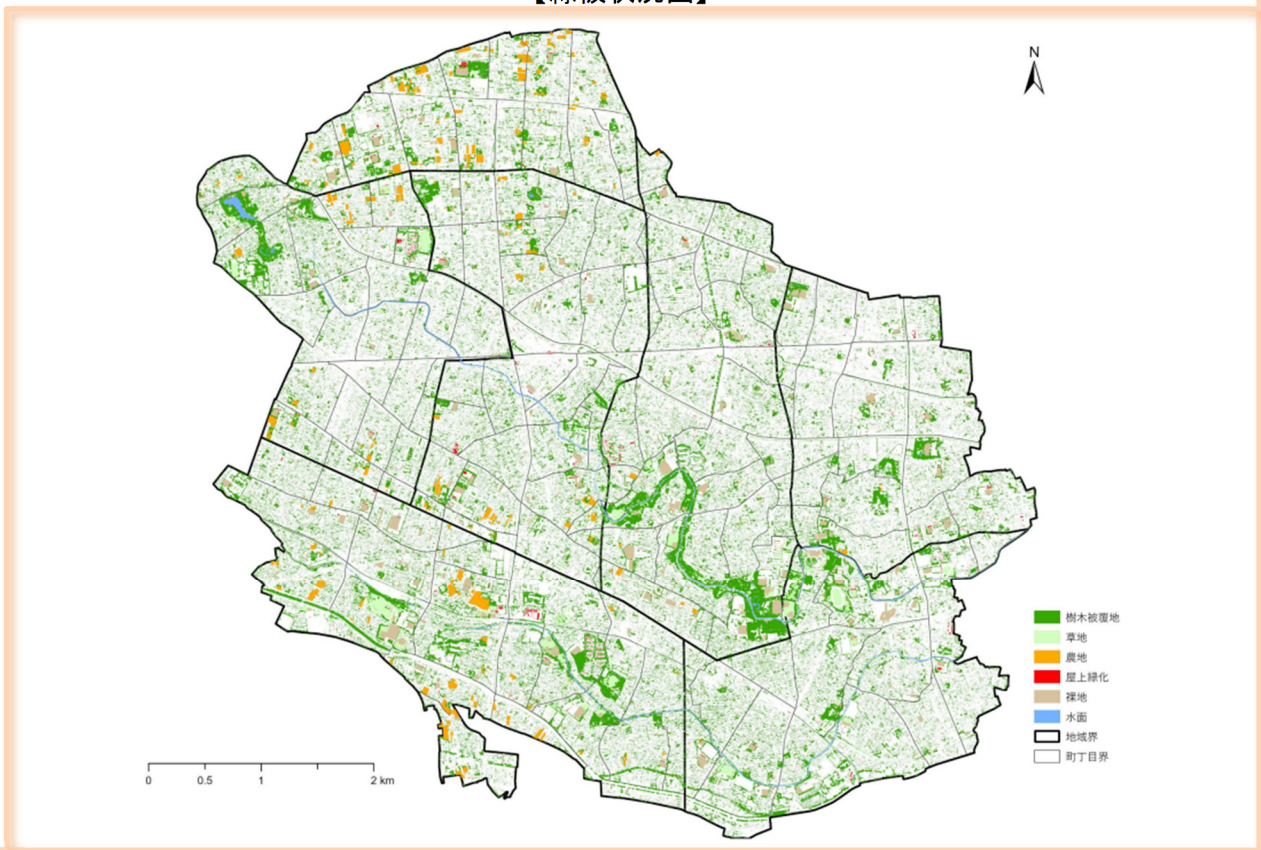
出典: 令和4年度杉並区みどりの実態調査

【緑被率の23区比較】

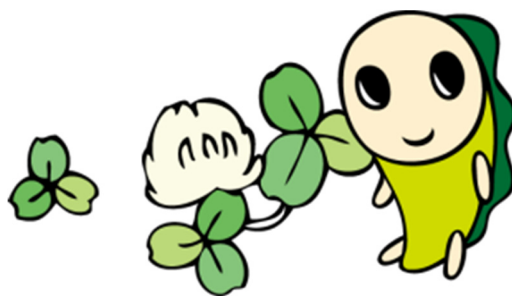


出典: 各区の報告書、計画書等(調査年度、調査方法は区によって異なります。)

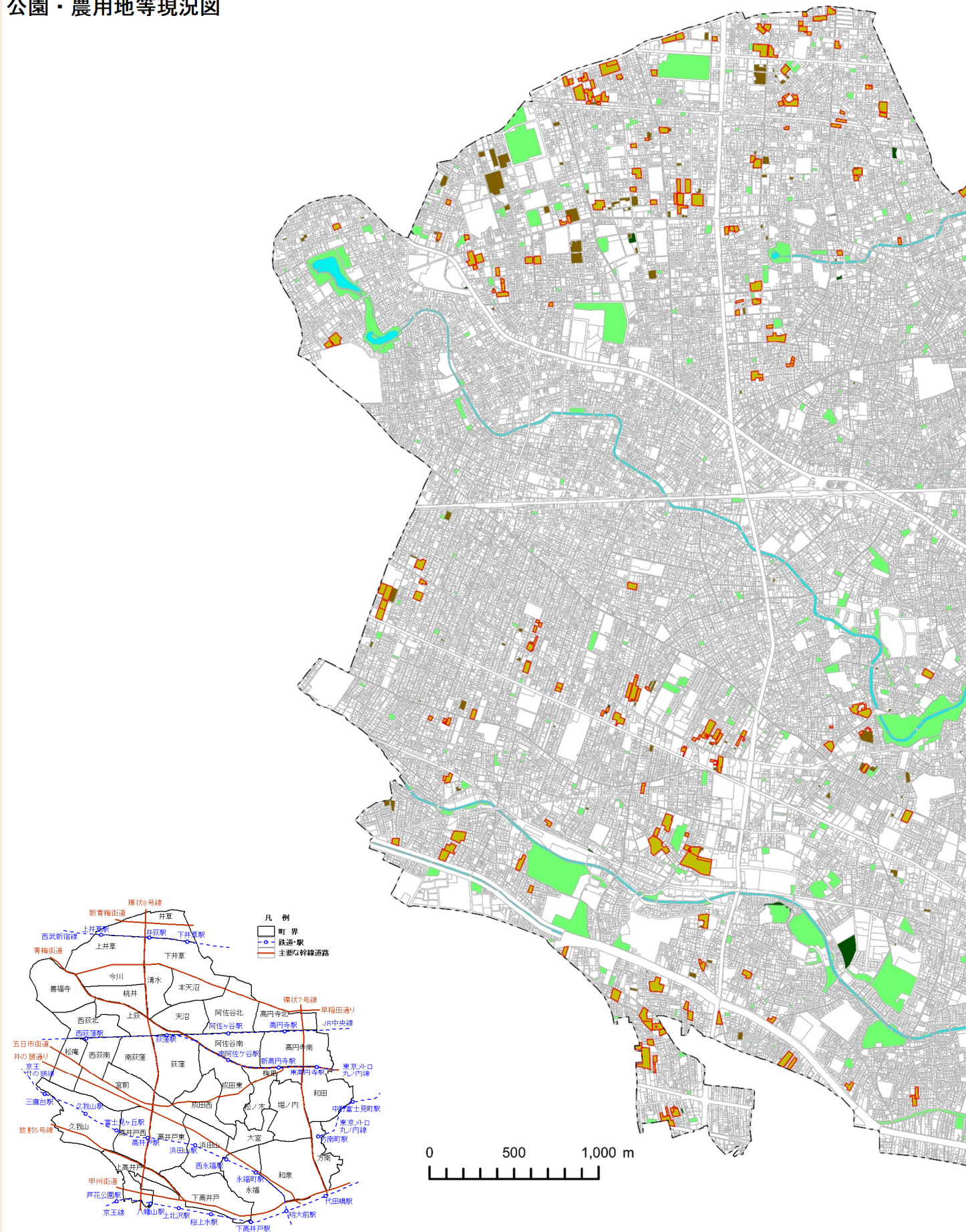
【緑被状況図】



出典: 令和4年度杉並区みどりの実態調査

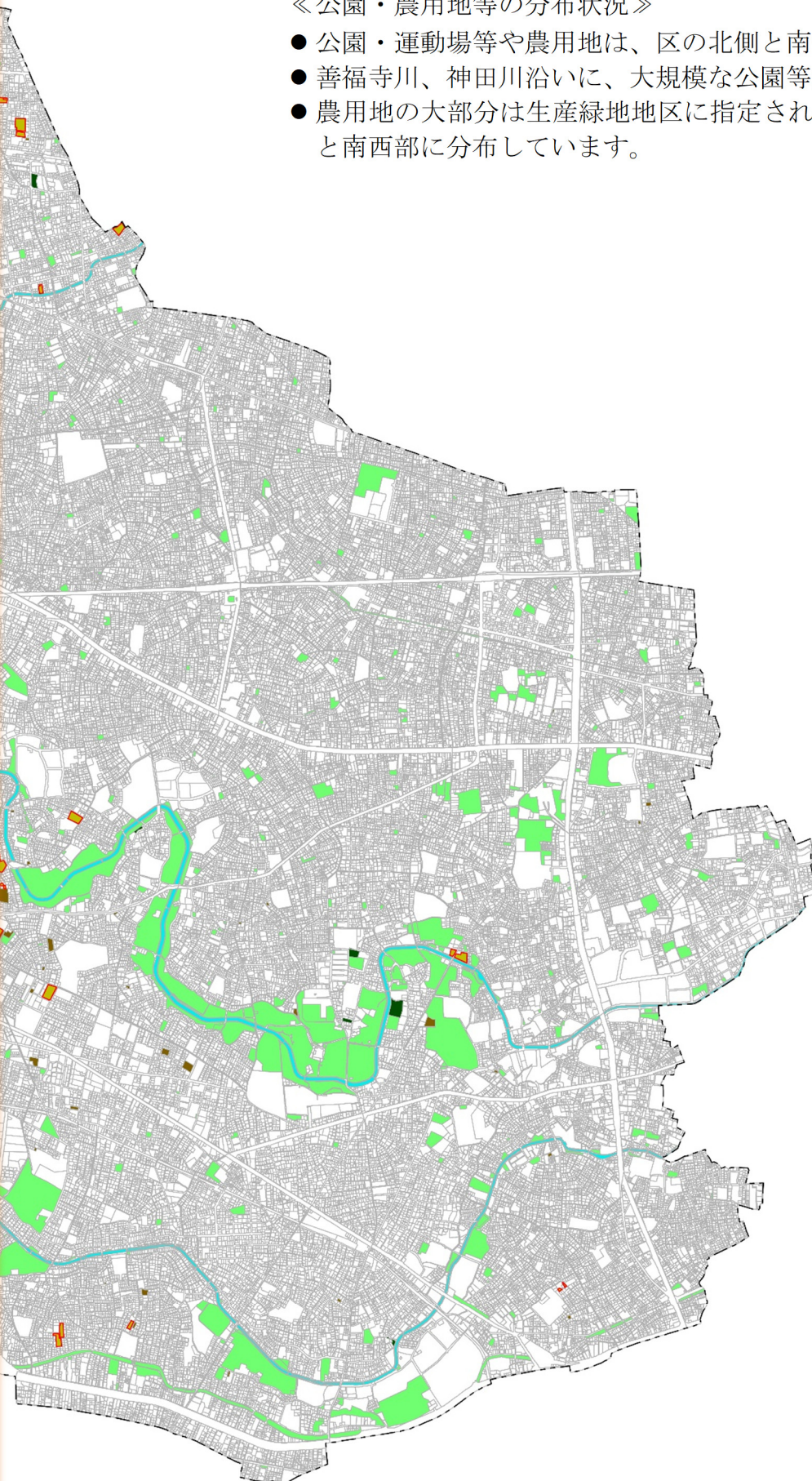


公園・農用地等現況図



《公園・農用地等の分布状況》

- 公園・運動場等や農用地は、区の北側と南側に多く分布しています。
- 善福寺川、神田川沿いに、大規模な公園等が多く分布しています。
- 農用地の大部分は生産緑地地区に指定されており、その多くが区の北西部と南西部に分布しています。



凡例

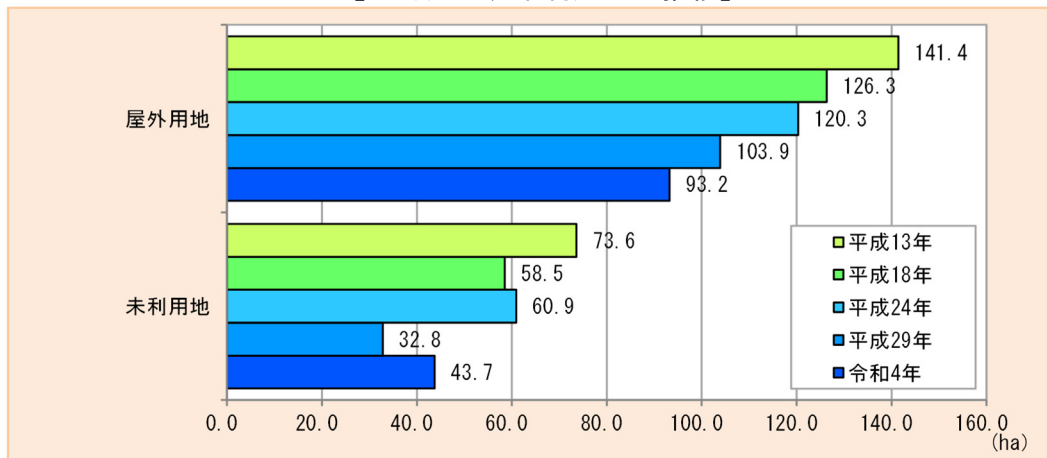
- 公園・運動場等
- 農用地
- 生産緑地地区
- 水面・河川・水路
- 森林、原野
- 区界

(2) 空地等（屋外用地、未利用地）の状況

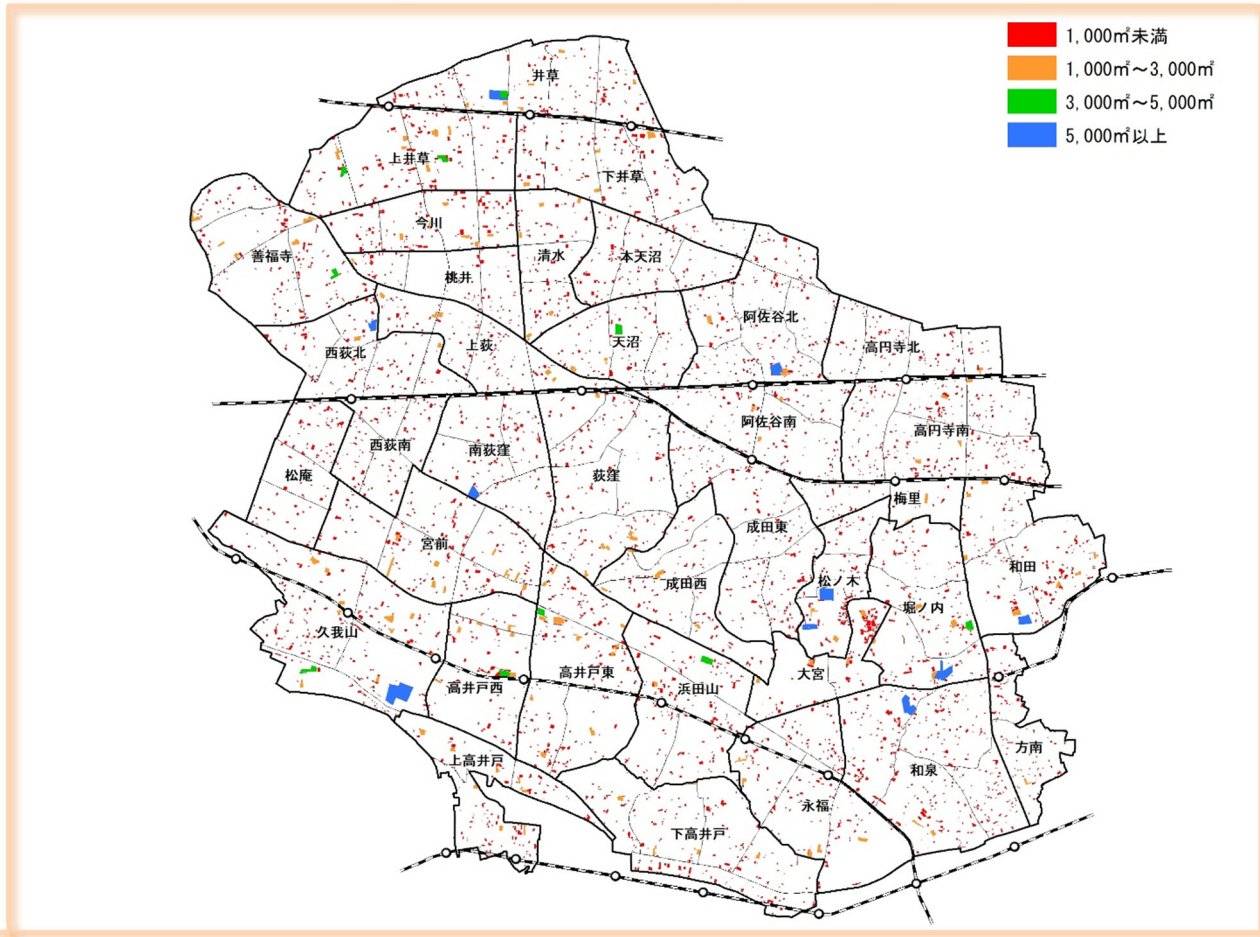
◆ 1,000㎡未満の屋外用地や未利用地が区全域に広く分布

- 屋外利用地の面積は平成13年から減少を続け、21年間で30.6%（43.2ha）減少しています。
- 未利用地の面積は、平成29年まで減少傾向でしたが、令和4年では増加に転じています。
- 規模別に分布状況を見ると、地域的なまとまりが無く、区全域に1,000㎡未満の空地等が広く分布しています。
- 5,000㎡以上の空地等は、区北西部及び南西部等に多く見られます。

【屋外用地、未利用地の推移】

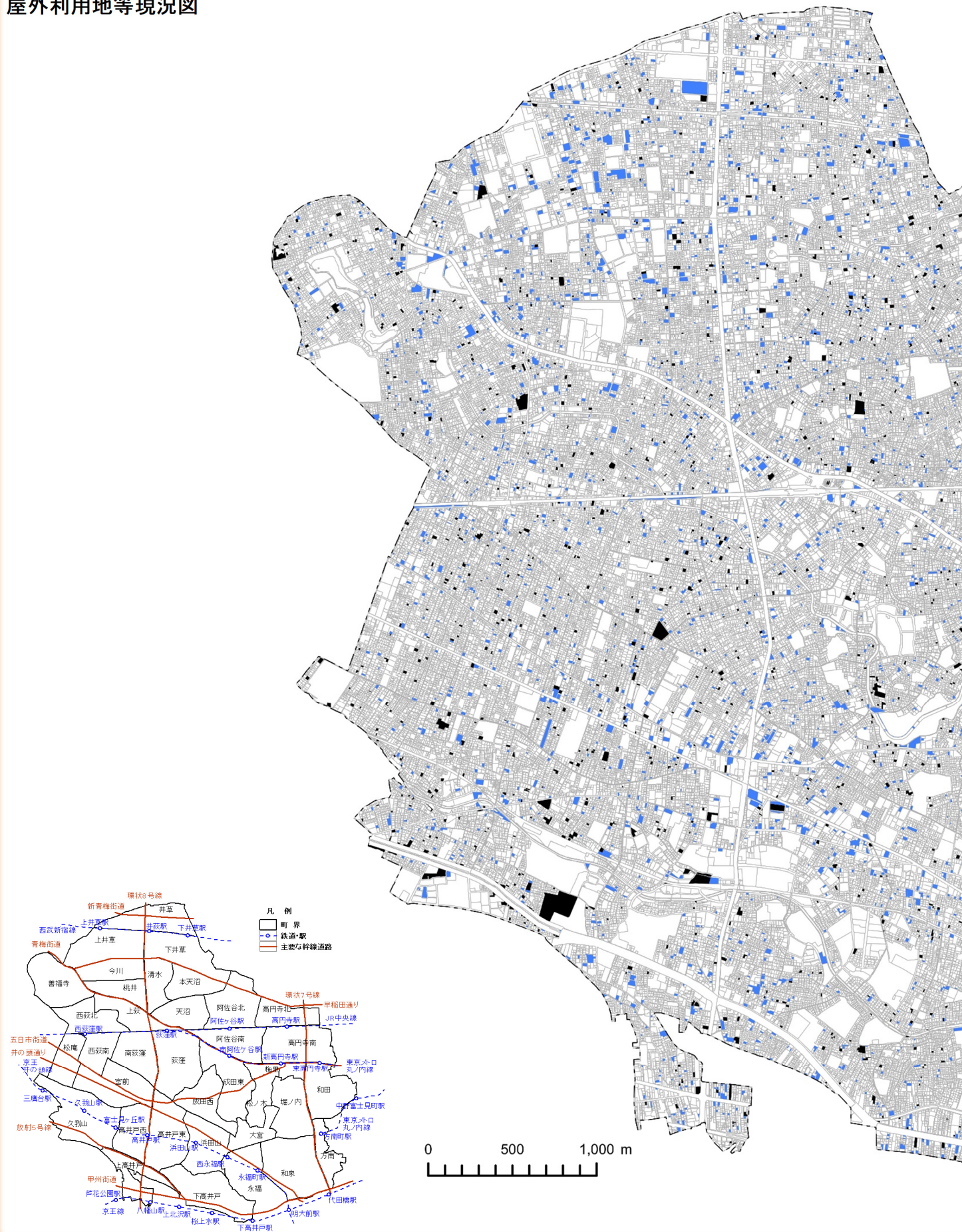


【屋外用地、未利用地の規模別分布図】



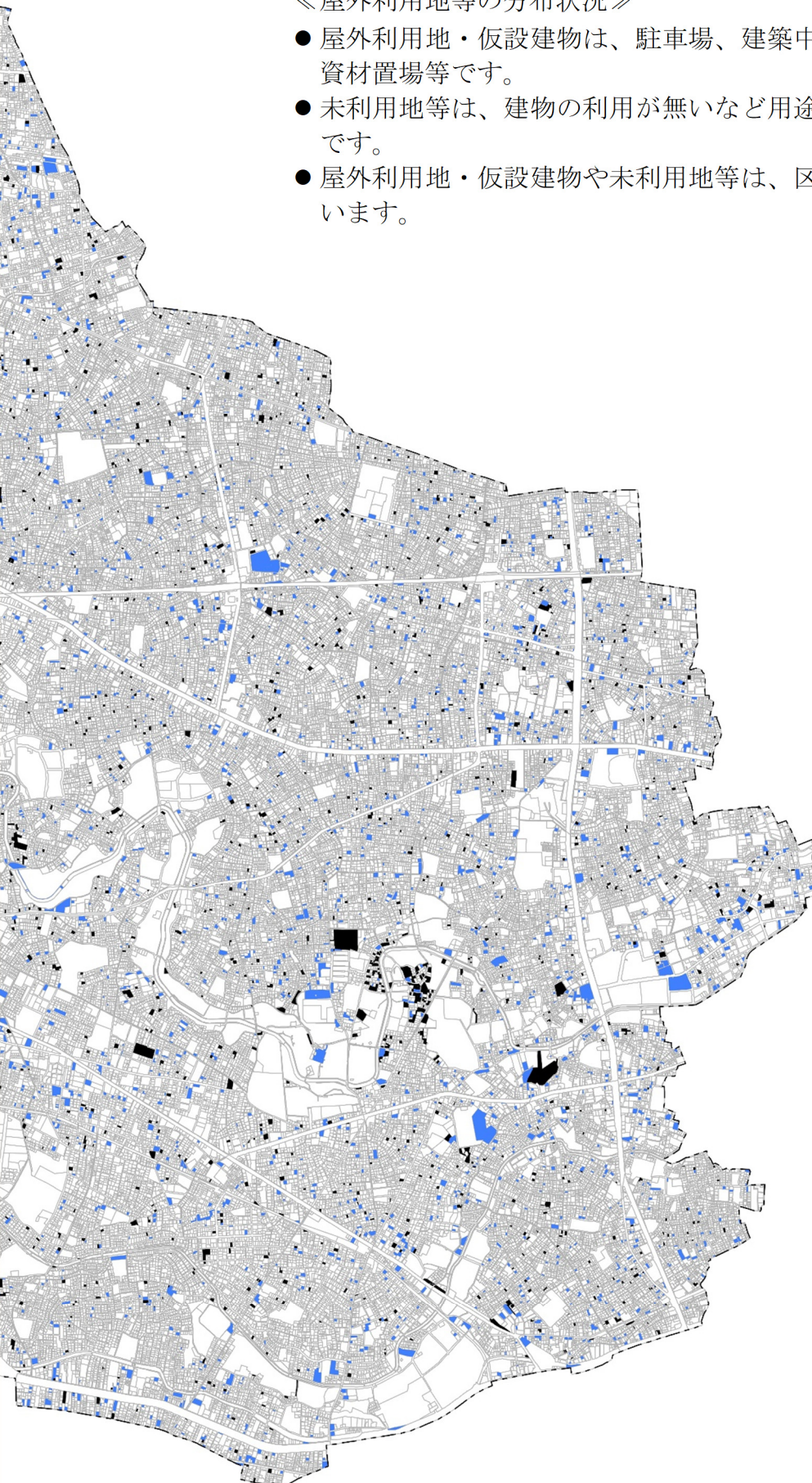


屋外利用地等現況図



《屋外利用地等の分布状況》

- 屋外利用地・仮設建物は、駐車場、建築中の敷地、モデルルーム展示場、資材置場等です。
- 未利用地等は、建物の利用が無いなど用途不明な土地や、建物の跡地などです。
- 屋外利用地・仮設建物や未利用地等は、区の全域にわたって広く分布しています。



凡例

- 屋外利用地・仮設建物
- 未利用地等
- 区界